

# 2023年度 第11回例会(Webinar) 「Early stages of Alzheimer's dementia – 最新情報」

世界の認知症患者は増加傾向にあり、経済的影響も多大です。また認知症の60%-70%がアルツハイマー型認知症と診断されており、65歳を超える人口のうち、アルツハイマー型認知症は、死亡/障害/要介護の主な原因の一つとなっています。本講演では、アルツハイマー型認知症の危険因子、症状、診断とスクリーニングや治療面から、アンダーライティング及び保険金・給付金に関わる影響を考えていきたいと思えます。

## ◆日時：2024年3月11日(月) 18:00～20:00

※当日の参加が難しい方のために、後日、録画動画のオンデマンド配信を実施いたします。オンデマンド配信を視聴した場合にも当日参加と同様、公式CPD単位として反映しますので、当日の参加が難しい方は是非ご活用ください。

【3月15日(金)～3月28日(木)の期間にオンデマンド配信にて再放送を実施(予定)】

再放送の参加方法等は改めてご案内いたします。

また、当日の講演動画はeラーニングコンテンツとして掲載予定ですので、当日・再放送ともに参加できなかった方はeラーニングコンテンツをご活用ください。

## ◆会場：ZoomによるWebinar開催(定員 先着500名)

## ◆講師：Dr. Gabriele Teichmann 氏

＜ハノーバー・リー グループメディカルオフィサー、ライフ・リスク・アセスメント部門ゼネラルマネージャー＞

◆参加登録：別紙をご参照ください。定員に空きがあれば、開催時刻まで登録は可能です。

※登録の際にご入力いただく氏名・会員番号・生年月日は、例会当日のCPD単位のための出席確認に利用します(単位集計をより正確に行う目的で、生年月日のご入力をお願いしております)。お間違えのないよう、正確にご入力をお願いいたします。

※登録上限を500名に設定しており、上限に到達した場合には登録ができません。参加を取りやめる場合は登録のキャンセルをお願いいたします。

◆講演資料：当会会員ホームページからダウンロードしてください(講演当日までに掲載予定)。

◆質疑応答：QA・アンケートツールである「Slido」を使用します(詳細は別紙をご確認ください)。パソコンでライブ配信を視聴し、スマートフォンでSlidoを使用することをお勧めします。なお、「Zoom」のQ&Aにご入力いただいた質問も、例会事務局にて「Slido」へ転記します。

## ■講師プロフィール

### Dr. Gabriele Teichmann 氏

ドイツのゲッティンゲン大学医学部および医学博士課程を卒業後、同大学および他の医療機関において外傷・一般外科のスペシャリストとして勤務し、2005年にハノーバー再保険に入社、シニア・メディカル・コンサルタントを経て、2010年よりグループ・メディカル・オフィサーおよびライフ・リスク・アセスメント部門のゼネラル・マネージャーとして、同社におけるアンダーライティング、クレームおよび医事関係の業務を統括しています。また、2022年よりCLAM(国際保険医学会)の会長に就任し、業界における保険医学全般の発展に尽力しています。